

# 日本顕微鏡学会会報

2007  
No.1

社団法人 日本顕微鏡学会

■2007年3月30日発行

■〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6

■TEL: 03-5940-7290 ■FAX: 03-5940-7980

大塚三丁目ビル

■E-mail: kenbikyo@realize-at.jp

リアライズ AT 株式会社

■URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/jsm>

## ◇佐々木崇寿教授を偲んで

昭和大学口腔組織学教室 主任教授 佐々木崇寿先生は、平成19年1月15日にご逝去されました。先生は昭和54年に東京歯科大学をご卒業後、昭和大学歯学部第2解剖学教室に助手として着任され、着任時から電子顕微鏡を使った研究をされました。また、当時は非常に新しい形態学的手法である細胞膜を三次元的に見ることができるフリーズフラクチャー法に挑戦し、世界で始めてアメロブラストの細胞膜が観察でき、エナメル質の分泌の新たなメカニズムを解明できたことなどすばらしい成果を上げられたことは先生の誇りでもありました。このような研究が認められ、アメリカニューヨーク州立大学に招聘され、2年間の留学をされ、平成10年には歯学部口腔組織学の教授に就任されました。先生のご研究は、歯の発生ばかりでなく、「歯の形成障害」、「ロックアウトマウスにおける硬組織解析」、「代謝性骨疾患の病態解析」の研究にもおよびました。これらの研究は形態学的手法ばかりでなく機能的な研究手法を用いて研究され、多くの成果を挙げられたことは国際的に非常に高く評価されています。特に *Journal of Electron Microscopy (JEM)* 初の特集号 *Biology of Mineralized Tissues* の編集をされたことは非常に大きな反響を呼びました。形態学の研究をおこなうものにとって大変よろこばしく誇りに思います。

新年を迎えて15日。空が厚い雲に覆われ重く感じた朝に一報が入り、二度と先生が研究される姿を見る事ができなくなりました。時間が経つ程に先生が残された功績、研究は私達に改めて重みを感じさせます。

ここに、ご冥福をお祈り申し上げます。

昭和大学歯学部口腔病理学教室  
主任教授 立川哲彦

## ◇日本顕微鏡学会第63回学術講演会について

日本顕微鏡学会第63回学術講演会は、2007年5月20日(日)～22日(火)にかけて、新潟の朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)において開催させていただくこととな

りました。新潟市は2007年4月1日より本州日本海側初の政令指定都市に移行しますが、その記念すべき年に、皆様に新潟にお越しいただけることを、実行委員会を代表してうれしく思っています。さて、本講演会のテーマは「多様化する顕微鏡技術—原子識別からバイオ組織イメージングまで—」といたしました。最近の顕微鏡学会の動向は、材料系では電子顕微鏡による原子識別への挑戦や電子顕微鏡トモグラフィーなど、高分解能、高精度かの研究が盛んになってきています。一方で、生物系においては、生体高分子構造解析のような領域が発展する傍らで、電子顕微鏡以外の多様な顕微鏡を用いたさまざまな展開、とくに生きた細胞の構造のイメージングへと大きな広がりを見せています。その点で、顕微鏡学会が扱う領域は急速に多様化してきているともいえるかも知れません。本講演会ではこのような多様な領域の研究や顕微鏡開発の動向を紹介しながら、今後の学会の行方を展望してみたいと思います。一方で、顕微鏡学会の次に世代を担う若い会員やビギナーを育成できるような内容もいくつか盛り込みました。

会員の皆様は札幌市での第16回国際顕微鏡学会議の興奮がまだ冷めやらない次期ではないかと思いますが、ふるってご参加いただき、活発で有意義な討論をしていただきたいと思います。酒、海の幸、米に恵まれた新潟の土地柄が生かされ、楽しい雰囲気の中で自由に語り合える稔り多い学会になるように準備を進めたいと思います。重ねて皆様のご参加をお待ち申し上げます。

1. 日程：2007年5月20日(日)～22日(火)
2. 会場：朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)  
〒950-0078 新潟市万代島6番1号  
TEL: 025-246-8400

### 3. 参加登録方法

#### (1) 登録方法

日本顕微鏡学会代63回学術講演会のホームページから参加登録を行って下さい。(http://www.jsm2007.com)

#### (2) 登録受付期間および参加費

日本顕微鏡学会正会員 共催学会

早期登録 7,000 円 (4 月 20 日まで), 通常登録 8,000 円  
非会員

早期登録 10,000 円 (4 月 20 日まで), 通常登録 12,000 円  
日本顕微鏡学会学生会員 (学部生, 大学院生)

早期登録 2,000 円 (4 月 20 日まで), 通常登録 3,000 円

#### 4. 懇親会

日本顕微鏡学会正会員 共催学会

早期登録 7,000 円 (4 月 20 日まで), 通常登録 8,000 円  
非会員

早期登録 8,000 円 (4 月 20 日まで), 通常登録 9,000 円  
日本顕微鏡学会学生会員 (学部生, 大学院生)

早期登録 3,000 円 (4 月 20 日まで), 通常登録 4,000 円

#### 5. お問い合わせ先

日本顕微鏡学会第 63 回学術講演会 事務局

(株) 新潟コンベンションサービス内)

〒 950-0088 新潟市万代 2 丁目 4-15-101

TEL: 025-240-5400/FAX: 025-240-5432

担当/錦織, 南波 (office@jsm2007.com)

#### 6. 学術講演会 HP : <http://www.jsm2007.com>

#### 7. 実行委員会 :

委員長 : 新潟大学大学院医歯学総合研究科 牛木辰男

材料系プログラム委員長 : 物質・材料研究機構 関口隆史

生物系プログラム委員長 : 岩手医科大学医学部 佐藤洋一

#### ◇SCAN TECH 2007のご案内

走査電子顕微鏡分科会/SCAN TECH 実行委員会

SCAN TECH は, 走査電子顕微鏡分科会が主催する催し  
で, あらゆる分野の研究者あるいは SEM 本体, 周辺機器に  
関わる研究者が一堂に集まり, 講師, 参加者, 実行委員を交  
えて納得のいく討論をする場です.

最近の SEM は, 装置の高性能化に伴い, 簡単な操作で試  
料の表面や内部の三次元微細構造を詳細に可視化できるよう  
になりました. しかし, 得られた像が試料の真の姿なのかを  
判断するためには, SEM 特有の画像コントラストを理解し,  
像解釈を正しく行うことはもちろんのこと, それ以外にも,  
試料の性質並びに観察目的に応じた試料作製方法, 観察条件  
の選択が必要になります. しかし, これらのテクニックに関  
しての情報はなかなか表に出ることがなく, また議論をする  
場も少なくなっています.

このような点をふまえて今回は,

“これで解決!! 失敗に学ぶ SEM テクニック”

をテーマに, SCAN TECH 2007 を下記の通り開催すること  
となりました.

講演中, 講師と直接, あるいは参加者同士, 気軽にディス  
カッションが出来る時間を設け, お互いの情報を有効に共有  
できる会にする予定です. 奮ってご参加ください.

なお, 詳細は走査電子顕微鏡分科会 HP (<http://homepage1.nifty.com/scantech/>) に逐次掲示いたします.

タイトル: これで解決!! 失敗に学ぶ SEM テクニック

期 日: 2007 年 9 月 14 日 (金)

会 場: 日本女子大学 80 年館 851 教室

(東京都文京区目白台 2-8-1)

#### ◇2007年夏の電子顕微鏡解析技術フォーラムのご案内

「2007 年夏の電子顕微鏡解析技術フォーラム」を開催しま  
す.

日 時: 2007 年 8 月 31 日 (金)~9 月 1 日 (土) (一泊二日)

場 所: ウェルハートピア熱海

(静岡県熱海市伊豆山 717-18)

詳細は学会ホームページのデバイス解析分科会のリンクか  
らお知らせいたします. ([http://www.soc.nii.ac.jp/jsm/j\\_frame.html](http://www.soc.nii.ac.jp/jsm/j_frame.html))

#### ◇第52回学会賞(瀬藤賞)について

2007 年度学会賞(瀬藤賞)は 22 件の推薦があり, 選考委  
員会からの答申のもと, 理事会において以下の会員に授与が  
決定しました.

##### 【A: 顕微鏡基礎部門】

森田清三「原子間力顕微鏡の高分解能化と原子の識別・操  
作・組み立てへの応用」

大野伸一「生体内凍結技法の開発と医学生物学応用研究」

##### 【B: 応用研究(生物)部門】

菅沼龍夫「高圧凍結技法の改良と胃底腺機能動態解析への  
応用研究」

##### 【C: 応用部門(非生物)部門】

幾原雄一「粒界構造解析の高度化と定量化に関する研究」

#### ◇第22回論文賞について

2007 年度論文賞は 7 件の推薦があり選考委員会からの答  
申のもと, 理事会において, 以下の論文に授与が決定しまし  
た.

##### 【a: 顕微鏡法基礎部門】

Transfer doublet and an elaborated phase plate holder for  
120kV electron-phase microscope.

(JEM, 54, 317-324 (2005): Fumio Hosokawa, Radostin  
Danev, Yoshihiro aria and Kuniaki Nagayama)

##### 【b: 応用研究生物部門】

In vivo subcellular ultrastructures recognized with Hilbert dif  
ferential contrast transmission electron microscopy.

(JEM, 54, 79-84 (2005): Yasuko Kaneko, Radostin Danev,  
Koji Nitta and Kuniaki Nagayama)

##### 【c: 応用研究非生物部門】

該当無し

##### 【d: 和文誌賞】

「理論計算に基づいた ELNES の解釈 (1)」(顕微鏡: Vol.  
40, 116-119 (2005))

「理論計算に基づいた ELNES の解釈 (2)」(顕微鏡: Vol.  
40, 172-175 (2005): 田中 功, 溝口照康)

◇第12回技術功労賞について

2007年度技術功労賞は1件の推薦があり、選考委員会からの答申のもと、理事会において、以下の会員に授与が決定しました。

1) 装置・理論部門 (①部門)

小野昭成「超高分解能 SEM の開発と応用技術の普及」

◇第8回奨励賞について

2007年度奨励賞は6件の推薦があり、選考委員会からの答申のもと、理事会において、以下の会員に授与が決定しました。

II. 生物系応用研究奨励賞

澤口 朗「高圧凍結技法による胃粘膜組織の超微形態ならびに組織化学的研究」

III. 物質系応用研究奨励賞

加藤丈晴「集束イオンビーム法による TEM 試料作製技術の応用」

◇第53回学会賞 (瀬藤賞) 受賞候補者の募集

第53回学会賞 (瀬藤賞) 受賞候補者 (推薦・自薦) を公募します。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡ください。推薦締切は本年7月14日です。

◇第23回論文賞候補者の募集

第23回論文賞候補者 (推薦・自薦) を公募します。推薦方法は過去2年間の学会誌 (「顕微鏡」40・41巻, 「JEM」54・55巻) に掲載された論文が対象となっています。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡ください。推薦締切は本年7月14日です。

◇第13回技術功労賞候補者の募集

故神谷芳弘先生からの寄付をもとに平成8年度から電子顕微鏡応用技術の進歩発展に関し、優れた功労のある方に技術功労賞を授与しています。本賞受賞候補者 (推薦・自薦) を公募します。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡下さい。推薦の締切は本年7月14日です。

◇第9回奨励賞候補者の募集

故深井孝之助先生からの寄付をもとに電子顕微鏡学および顕微鏡法研究にかかわる若手研究者奨励のため、平成13年度から奨励賞を設置しています。本賞受賞候補者 (推薦・自薦) を公募します (推薦締切: 本年7月14日)。受賞対象者は本年7月末日において満40歳未満となっています。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡下さい。

◇2006年度電子顕微鏡技術認定試験結果の報告

2006年度電子顕微鏡技術認定試験は2006年10月14日に、東京・京都・福岡において二級技士、一級技士Ⅰ・Ⅱの筆記試験を実施し、一級技士Ⅳの鏡体実技試験については10月

21日に東京で実施を致しました。また、10月28日の技術認定委員会 (東京) において二級技士、一級技士Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの合否判定を行いました。

その結果を技術認定制度規則9の(4)により下記の通りご報告申し上げます。

1) 二級技士 (生物):

受験者73名 合格者64名 合格率 87.7%

2) 一級技士Ⅰ: 受験者3名 合格者2名 (合格率 67.7%)

3) 一級技士Ⅱ: 受験者4名 合格者4名 (合格率 100%)

4) 一級技士Ⅲ: 受験者4名 合格者2名 (合格率 50%)

5) 一級技士Ⅳ: 受験者1名 合格者1名 (合格率 100%)

【二級技士認定者 (合格者)】

柳田直人 (1173), 山下和也 (1174), 牧 禎 (1175), 奈良真孝 (1176), 加藤武揚 (1177), 井上ともこ (1178), 金光明花 (1179), 平野絵美 (1180), 寺田健二 (1181), 品川絵里 (1182), 安達直矢 (1183), 内村美恵 (1184), 遠藤堅太郎 (1185), 大森弘子 (1186), 廣瀬あゆみ (1187), 近藤多美子 (1188),

安藤利恵 (1189), 山田浩史 (1190), 服部智子 (1191),

増田みどり (1192), 柳田絵美衣 (1193),

穴原 賢 (1194), 森田 敦 (1195), 南本明美 (1196),

牛丸牧子 (1197), 成田真由美 (1198), 岡田 仁 (1199),

橋本知枝 (1200), 城戸弘子 (1201), 小島未央 (1202),

小川紗世子 (1203), 吉里未佳 (1204), 布施潤一 (1205),

生頼義久 (1206), 宇野鉄也 (1207), 難波一徳 (1208),

川口達也 (1209), 中山智香子 (1210), 今村彰吾 (1211),

林由美子 (1212), 山崎茂樹 (1213), 吉岡正和 (1214),

佐久間正樹 (1215), 尾之内高慶 (1216),

藤田奈央 (1217), 相馬千春 (1218), 小松恵理 (1219),

榊みずほ (1220), 岡田公美 (1221), 南谷有美 (1222),

山田 彩 (1223), 山名正人 (1224), 庄子尚志 (1225),

佐々木亜里 (1226), 内藤麻子 (1227), 仲野靖孝 (1228),

飯塚了太 (1229), 木村恵子 (1230), 米澤理寛 (1231),

林由紀子 (1232), 新島純一郎 (1233), 吉田友和 (1234),

高橋佳子 (1235)

【一級技士Ⅰ合格者】

松田幸恵, 西俣俊哉

【一級技士Ⅱ合格者】

牧野 雅, 渡辺孝平, 堀川祥生, 草間たか子

【一級技士Ⅲ合格者】

矢野哲也, 大野真由子

【一級技士認定者 (一級技士Ⅳ合格者)】

石原陽介 (93)

注) ( ) 内は認定登録番号

◇第16回電子顕微鏡大学収支報告書

2006年4月20日 (木) ~ 21日 (金) に行われた第16回電子顕微鏡大学には109名の受講者がありました。

〈収入の部〉科目	(単位：円)
開催補助金	100,000
参加費	
正会員 (30)	900,000
賛助会員 (14)	420,000
協賛会員 (27)	1,215,000
非会員 (18)	1,080,000
学生 (20)	200,000
受取利息	23
合 計	3,915,023

〈支出の部〉科目	(単位：円)
DM 作製・郵送費	163,127
郵送費	45,310
テキスト印刷費	379,575
会場費	57,099
会場費振込手数料	150
交通費	314,000
資料調査費	500,000
Q&A 集印刷・郵送費	162,958
事務費	50,000
謝金 (アルバイト代)	152,000
雑費	5,684
合 計	1,829,903

〈収支〉	(単位：円)
収入	3,915,023
支出	1,829,903
収支差額	2,085,120

#### ◇第62回学術講演会収支報告書

第 62 回学術講演会は 2006 年 5 月 20 日に横浜市立市立大学八景キャンパスにて行われました。

〈収入の部〉科目	(単位：円)	
参加費	167	
正会員【早期申込】	98	196,000
非会員【早期申込】	9	27,000
正会員【当日登録】	52	156,000
非会員【当日登録】	8	32,000
懇親会	70	
一般【早期申込】	50	204,000
学生【早期申込】	0	0
一般【当日登録】	18	90,000
学生【当日登録】	1	3,000
広告収入		205,000
弁当		61,000
学会本部補助金収入		1,000,000
合 計		1,974,000

〈支出の部〉科目	数量	(単位：円)
予稿集	250	225,750
案内	2250	139,387
ポスター	380	63,000
看板		15,900
名札		6,300
花		2,100
搬出, 搬入		10,500
弁当代		80,000
コーヒー代		20,000
懇親会費		304,500
講師・講演者交通費	9	242,880
学生アルバイト代	10	94,000
資料コピー代		700
備品購入		7,244
会計業務		52,500
郵便代		7,870
宅急便		7,420
合 計		1,280,051

〈収支〉	(単位：円)
収入	1,974,000
支出	1,280,051
収支差額	693,949

#### ◇第17回電子顕微鏡サマースクール収支報告書

第 17 回電顕サマースクールは 2006 年 7 月 28 日 (金) ～ 29 日 (土) に宮崎大学医学部清武キャンパスにて行われました。

〈収入の部〉科目	(単位：円)
参加費収入	701,000
昼食費収入	48,000
学会本部補助金収入	100,000
寄付金収入	320,000
機器展示収入	30,000
広告掲載料収入	150,000
雑収入 (銀行利息)	16
合 計	1,349,016

〈支出の部〉科目	(単位：円)
渉外費 (昼食・懇親会費)	300,368
印刷費 (ポスター作成他)	63,525
通信費	51,700
講師費 交通費	580,000
講師費 宿泊費	181,100
会議費	70,863

テキスト作成費	52,502
消耗品費	23,538
雑費	25,420
合計	1,349,016

〈収支〉	(単位：円)
収入	1,349,016
支出	1,349,016
収支差額	0

#### ◇技術認定委員交代の件

2007年・2008年度標記委員に以下の会員を委嘱いたします。(技術認定試験委員については理事会申し合わせにより掲載しておりません)

《認定委員(順不同・敬称略)》

土肥良秋<sup>\*2</sup>、勝又修<sup>\*3</sup>、鮫島正純、京谷陸征、福島球琳男、江原友子、仁木輝緒、藤山文乃<sup>\*1</sup>、北重夫、近藤俊三、幡場良明、金子康子、佐藤眞美子、吉田まり子

<sup>\*1</sup> 新任委員、<sup>\*2</sup> 認定委員長、<sup>\*3</sup> 試験委員長

#### ◇顕微鏡和文誌編集委員の件

新たに顕微鏡和文誌編集委員に小澤一史、一色俊之、中村桂一郎、藤山文乃会員を委嘱いたします。菅沼龍夫、川上速人、磯田正二、野村巖会員が退任となります。

#### ◇顕微鏡欧文誌編集委員の件

新たに顕微鏡欧文誌編集委員に武藤俊介、富取正彦、桑野範之、網塚憲生、板東義雄、山口正視会員を委嘱いたします。佐々木崇寿、倉田博基、松井良夫、西山彌生、高柳邦夫、竹田精治会員が退任となります。

#### ◇日本顕微鏡学会平成18年度第2回理事会議事要旨

日時：平成18年9月3日(日) 11:00～13:00

会場：札幌コンベンションセンター(札幌市)

出席者：理事：山科正平、弘津禎彦、大谷修、川上速人、平山司、松井良夫、柿林博司、関口隆史、高井義造、永山國昭(兼関西支部代理)、福島球琳男、藤川清三、桑野範之(兼九州支部長代理)

欧文誌編集委員長：市野瀬英喜、和文誌編集委員長：菅沼龍夫

監事：下山宏、依藤宏

第63回学術講演会実行委員長：牛木辰男

支部長：大野伸一(関東)

IMC16事務局：古屋一夫、大貫惣明

#### 【報告】

1. 庶務報告：本年度の学会登記、および文科省への平成17年度報告および18年度事業計画の提出について報告された。

2. 会計報告：平成18年度8月20日までの会計報告が行われた。

3. 欧文誌編集委員会報告：欧文誌編集進捗状況について報告された。

4. 和文誌編集委員会報告：和文誌編集進捗状況について報告された。

5. 第17回サマースクール準備状況報告：サマースクールの開催状況について報告された。

6. 第62回学術講演会開催報告：第62回学術講演会の開催について報告された。

7. 第63回学術講演会準備状況報告：第63回学術講演会準備状況について報告された。

8. IMC16準備状況報告：IMC16準備状況について報告された。

9. その他：電子顕微鏡最重要技術検討会

第2回電子顕微鏡最重要技術検討会が、9月29日に開催予定である旨報告された

#### 【議題】

1. 第64回学術講演会の件：磯田評議員より実行委員長を了承いただいた旨報告があり、承認された。

2. 第18回サマースクールの件：小沢評議員より実行委員長を了承いただいた旨報告があり、承認された。

3. 第51回シンポジウムの件：石村評議員より実行委員長を了承いただいた旨報告があり、承認された。

4. H19-20役員選挙の件：本年度選挙のスケジュールおよび各支部からの評議員・理事・会長候補の推薦状況について報告があり、承認された。

5. 各賞選考の件：受賞候補者の推薦が終了し前回各選考委員長より資料が提出された件、ならびに常務理事会より選考委員候補者について提案があり承認された。また、各賞選考委員について候補者が検討され、承認された。

6. 入退会の件：2006年7月～8月の会員異動について報告が行われ、承認された。

	入会	退会
正会員	7	6
学生会員	2	1
シニア会員	3(正会員より)	

\*シニア会員については正会員からの異動による。

7. 協賛・後援・人事公募依頼の件：5件について協賛等を承認した。

#### 【その他】

a. 名簿作成について承認された、来年度名簿作成に向けて、検討事項について資料をもとに説明があり継続審議となった。

b. イベント開催場所の公募について

第65回学術講演会および第19回シンポジウム以降については、公募も行うことで承認された。

c. ウラン規制について説明があり、最終案が提示された際

には、会員への周知を行うことが了承された。

d. 平成18年度第3回理事会日程変更および第4回理事会日程の件について説明があり、承認された。

e. 学会と会員とのつながりを強化するため引き続き試案の検討を行うことでも了承された。

f. 研究部会・分科会の活動について

学術運営委員会にて進められている研究部会、分科会について、もっと積極的に、活動を広げていくような試みを期待したい旨、要請があった。

#### ◇日本顕微鏡学会平成17年度第3回理事会議事要旨

日時：平成18年12月2日（土）14：00～17：00

会場：オフィス東京会議室

出席者：理事：山科正平，大谷 修，川上速人，平山 司，松井良夫，柿林博司，関口隆史，高井義造，桑野範之，藤川清三，横田貞記

監事：下山 宏

欧文編集委員長：市野瀬英喜

技術認定委員長：立花利公

第62回学術講演会実行委員長：澤田 元

第63回学術講演会実行委員長：牛木辰男

関西支部長：磯田正二

日本臨床電子顕微鏡学会理事：大槻勝紀

IMC事務局：古屋一夫

#### 【報告】

1. 庶務報告：学会賞各賞の選考委員が決定し、1月末から2月上旬には受賞者決定、3月の理事会にて報告予定である旨報告された。

2. 会計報告：会費等収入、JEMなどの支出についての状況及び学術振興積立にちえて報告された。

3. 欧文誌編集委員会報告：欧文誌編集進捗状況について報告された。

4. 和文誌編集委員会報告：和文誌編集進捗状況について報告された。

5. 技術認定委員会報告：2006年度の電子顕微鏡技術認定試験について報告された。

6. 広報委員会報告：広報委員会の活動報告がなされた。

7. 学術運営委員会報告：研究部会・分科会の中間報告がなされた。

8. 支部報告：北海道、関東、関西、九州の各支部により活動が報告された。

9. 第63回学術講演会準備状況報告：第63回学術講演会の概略について報告された。

10. IMC16報告：IMC16の終了について報告された。

11. 金属連合協議会報告：名称は材料連合協議会に変更される、年会費、協議会の開催について報告された。

12. ウラン規制について：安全管理マニュアル、国際基本安全基準（BBS）の規制免除レベルの原子炉等規正法への取り入れが関係省庁にて検討されている旨報告された。

13. 電子顕微鏡最重要技術検討会：市野瀬英喜会員（理研）、木本浩司会員（物質・材料研究機構）、富取正彦会員（北陸先端科学技術大学院大学）、宮澤淳夫会員（理化学研究所）、倉田博基会員（京大化研）を本検討会メンバーに加えたことが報告された。

#### 【議題】

1. 第62回学術講演会決算の件：澤田実行委員長より第62回学術講演会の決算報告があり承認された。

2. 選挙管理委員・評議員選挙について：選挙管理委員会のメンバーの決定について報告があり承認された。

3. 第16回電子顕微鏡大学決算の件：決算報告があり承認された。

4. リアライズATとの契約更新について：2007年の事務局委託について協議され更新が承認された。

5. 退会の件：2006年9～11月の会員異動について報告が行われ承認された。

	入会	退会
正会員	10	25
学生会員	1	1

6. 協賛・後援・人事公募依頼の件：6件について協賛等を承認した。

7. その他

a. 学会と会員とのつながり強化のため試案

会員への連絡を強化するための取り組みについて継続協議となった。

b. 名簿作成について

次年度の事業計画に加える旨承認された。

c. 第65回学術講演会および第19回シンポジウム以降の公募について

和文誌やHPで広告してはどうかとの提案があり承認された。

d. 日本顕微鏡学会とCAPSEMとの関係について

CAPSEMに顕微鏡学会から正式な代表者を送る方向で検討を進めたいとの提案があり承認された。

e. 弔意規程を慶弔規程とする件について

規程案を次回審理理事会で審議することで承認された。

f. 男女共同参画問題について

積極的に取り組むためワーキンググループを設けるなど事業計画に組み入れる方向で検討したいとの提案があり、承認された。

g. 支部割当金の件

割当金に関してもう少し議論が必要であるとの要請があり継続審議となった。

#### ◇関係学協会の案内

1) オルガテクノ2007

日時：2007/7/18-20

会場：東京ビッグサイト

問い合わせ先：〒107-0052 東京都港区赤坂4-9-17  
赤坂第一ビル  
TEL: 03-5772-1321 FAX: 03-5772-1324  
URL: www.orga-techno.com

従来のテクノロジーを根底から覆す可能性を秘めた有機・高分子材料の新しい研究動向を網羅した会議を中心に据え、未来を拓く有機テクノロジー技術から生まれる様々な未来志向の製品群を数多く天気会にて紹介することで、有機高分子技術の可能性を広く世に知らしめることを目的としている。

## 2) 国際セラミックス総合展 2007

日 時：2007/4/4-6

会 場：東京ビッグサイト

問い合わせ：フジサンケイ ビジネスアイ（日本工業新聞社）事業局

〒100-8125 東京都千代田区大手町1-7-2

TEL: 03-3273-6181 FAX: 03-3241-4999

E-mail: wakatsuki@sankei-net.co.jp

本展示会はセラミックスの産業及び科学・技術の発展を目指して、我が国を代表するセラミックス関連3団体が主催する専門展です。各主催団体、大学などの研究成果発表や国際シンポジウム、セミナーなど、展示のみならず産官学連携を支援する最新情報発信の場を提供していきます。

## 3) 第16回二次イオン質量分析国際会議

The 16th International Conference on Secondary Ion Mass Spectrometry (SIMS XVI)

合同開催シンポジウム

第6回新材料、素子の原子レベルキャラクタリゼーションに関する国際シンポジウム

6th Internatuonal Symposium on Atomic Level Characterization for New Materials and Devices '07

日 時：2007/10/29-11/2

会 場：石川県金沢市県立石川音楽堂

問い合わせ：SIMS XVI 国際会議組織委員会

鈴木峰春

TEL: 0467-85-4220 FAX: 0467-85-4411

E-mail: mineharu\_suzuki@ulvac.com

黒河 明

TEL: 029-861-5731 FAX: 029-861-5730

E-mail: a-kurokawa@aist.go.jp

二次イオン質量分析（SIMS）に関する最新の結果と情報の交換を行う。SIMSに関して、基礎研究から応用事例まで、深さ分布の解析方法・シュミレーション、半導体・無機・バイオ・高分子材料の評価、ビーム発生技術、環境科学、標準化などを対象とする。

URL: <http://beams.cc.kogakuin.ac.jp/sims/>

合同開催シンポジウム

新素材や新素子の原子レベル評価に関する国際シンポジウム（ALC'07）

## 4) 第7回（平成19年度）財団法人材料科学技術振興財団山崎貞一賞候補者募集

日 時：平成19年2月1日から4月末日（必着）

問い合わせ：〒157-0067 東京都世田谷区喜多見1-18-6

財団法人 材料科学技術振興財団

山崎貞一賞事務局

TEL: 03-3415-2200 FAX: 03-3415-5987

E-mail: prize@mst.or.jp

URL: <http://www.mst.or.jp/prize/>

## 5) 第10回アジアメディカルショー

テーマ：「医療と福祉の新しい出会いをめざして」

日 時：2007年6月1日（金）～3日（日）3日間

会 場：福岡国際センター 福岡市博多区築港本町2-2

問い合わせ：アジアメディカルショー事務局

富村幸子

〒810-0001 福岡市中央区天神2-14-8

九連事務局内

TEL: 092-716-0739（平日10:00～16:00）

FAX: 092-715-5500

開催趣旨：九州唯一の医療・福祉機器の総合展示会として、第10回目を迎える、アジアメディカルショーは、医療・ホームケア・福祉に関する機器及び施設等のより広範な普及、さらなる促進を目的として開催されます。

また、アジアに開かれた福岡において本展示会を開催することにより、日本全国へひいてはアジア近隣地域へ広く情報発信し、医療におけるネットワークづくりと共に、医療に対する全地球的な意識の高まりを促すきっかけとなることを願うものであります。